



2026年6月17日

No.2

6月16日（火）に、豊能町食生活改善推進員協議会の方に来園していただき、くま組が『噛むことの大切さ』の話を聞きました。「長いから“しょっかい（食改）さん”って呼んでね」と自己紹介されると、「ぱんだ組の時も話聞いた」や「お祭りでみたことある」と、名前を覚えている子もいました。モモちゃんが出てきてみんなのお腹の中がどのような仕組みになっているかを目で見ながら説明してもらったり、固さで点数の違う輪投げをしたりして、楽しみながら学び、最後は「30回噛んで食べるってお家でも教えてあげる！」と話していた子どもたちでした。



「点数が高い食べ物もしっかり噛んで食べてね」と教えてもらいました。



「30回噛むといいよ」
「胃の中でドロドロにするよ」
「いないものはうんちになって出てくるよ」



子どもたちに大人気だった輪投げ。くま組でも作りたいねと盛り上がっていました。リクエストして3回遊びましたよ。



「めっちゃ長い」と大興奮だった“小腸”です。



～食生活改善推進員とは～

我が家の食卓を充実させ、地域の健康づくりを行うことから出発した食生活改善推進員は“食生活を改善する人”を意味します。豊かな感性と知性と経験が一人ひとりの力となり結集され、【私たちの健康は私たちの手で】を合言葉に、食を通した健康づくりのボランティアとして活動を進めておられます。